

につせき ぬくもり通信

vol. **61**
2020 July

人道、博愛、奉仕の赤十字精神に基づき、医療を通じて、地域社会に貢献します。

愛媛の小児医療の中核として あらゆる疾患に対応

10



新病院完成予定 2022



①〈診療科紹介〉

小児科

全ての子供たちの
健やかな成長のために

②新型コロナウイルス
感染症3つの顔を
知ろう!

③ロコトレ

④〈連携病院〉
天山病院

⑤インフォメーション&
ニュース

⑥外来診療担当医表

全ての子供たちの 健やかな成長 のために



Profile

松山赤十字病院
小児科 部長

近藤 陽一 Kondo Youichi

1964年生まれ、香川県出身。1990年に岡山大学医学部卒業。岡山大学医学部・歯学部附属病院、国立福山病院、川崎医科大学附属病院などを経て、2002年に松山赤十字病院に赴任。2008年より第3小児科部長。2012年より現職。

小児科／【医師】12名 【看護師】46名 【カウンセラー】7名 【DA】2名 【事務】3名

小児の疾患ごとに 専門医による治療を行う

小児科では、主に新生児から小児の診療を行っています。基本的に15歳までが対象ですが、厳密に決まっているものではないため、それ以上の年齢の患者さんもいらっしゃいます。小児の全ての疾患に対応しなければならないのも小児科の特徴です。松山赤十字病院は、長きにわたって愛媛の小児医療の中核としての役

割を果たしてきました。地域の病院から紹介された患者さんを受け入れているほか、松山市の夜間診療において、比較的重症度が高く入院が必要となる患者さんが、“二次救急”という形で、当院に紹介されてきます。

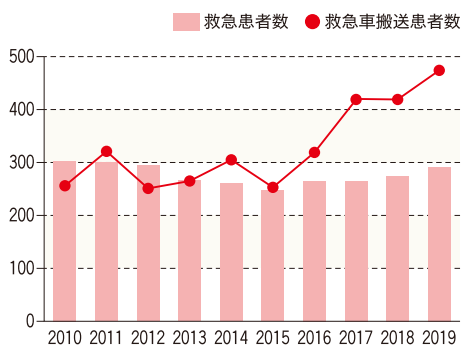
「この小児科には、一部の専門分野を除いて、疾患ごとにそれぞれ専門の医師がいます。アレルギー専門の医師や血液専門の医師が免疫関係の治療にあたり、関連する分野を担当することで、ほ

とんどの疾患をカバーしています。その他、基礎疾患のある小児の予防接種、心理相談なども行っています」（近藤部長）

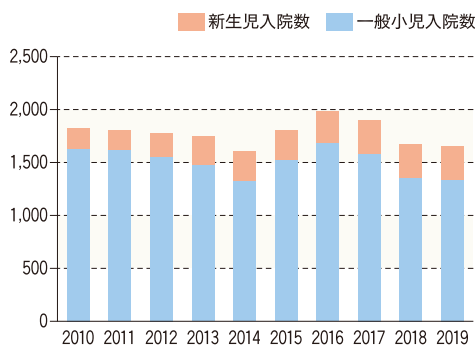
当院の入院患者さんで最も多いのが、感染症です。気道・消化器系の感染、いわゆる気管支炎や胃腸炎などの急性疾患で入院してくるお子さんが全体の半数ほどを占めています。感染症の場合は、治療して退院となるため、その後はかかりつけ医に引き継ぎます。退院後も継続して治療が必要となる血液疾患・腫瘍疾患・腎疾患・内分泌疾患・代謝疾患・アレルギー、神経疾患など専門性の高い患者さんに対しては、当院の外来でフォローしています。発達面で定期的にフォローが必要な子供さんなどを外来で診るような形となっており、救急医療を担う特性上、外来で一般の診療は行っていません。

外科疾患に関しては、小児外科の医師をはじめ院内の医師で行えるものはここで完結しますが、疾患によって当院では手術が難しい疾患も存在し、県内県外問わず、適切な病院を紹介することになり

【小児科救急患者数推移】



【小児科入院患者数推移】



ます。そういった横のつながりも非常に大切です。

当院の産科では、年間600~700ほどの分娩を行っています。出生児のうち3分の1ほどが入院になります。さらに約100名ほどにハイリスクの疾患が見られ、NICU（集中治療室）での治療が必要です。子供の疾患による入院・通院は、親御さんに大きな不安とストレスを与えます。そのため、病気の治療はもちろん、親御さんの気持ちに寄り添い、ストレスを軽減できるようなケアも行ないます。

支援が必要な親子をサポートする『成育医療センター』

当院の重要な役割として、もう一つの大きな柱となっているのが“成育医療”です。

「子育てに不安を感じているお母さん、お父さんは多いと思いますが、なかには本当に支援が必要な方がいらっしゃいます。そこをしっかりとサポートしていくために立ち上げたのが、『成育医療センター』です。公的な機関と連携して、サポートが必要な親子に、さまざまな支援を行っています」

病院内では産科・小児科・心療内科の看護師・助産師・カウンセラーなどで情報を共有し、子ども総合相談センター事務所や児童相談所のスタッフを交えたカンファレンスも週に一度行っており、きめこまやかな対応を心がけています。

「“虐待”は社会的にも大きな問題となっていますが、未然に防ぐことが大切です。場合によっては、出生前から院内外の多職種が一つのチームとして案件に関わっていくようにしています。全ての子供が健やかに成長してくれるのが、私たちスタッフの願いです。子供たちを守るため、全力でサポートしていきます」



モーニングカンファレンスの様子

新型コロナウィルス感染症 3つの顔を知ろう！

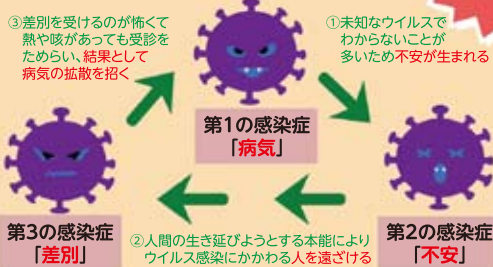
新型コロナウイルス感染症で気をつけなければならないことは感染症状だけではないことをご存知ですか？日本赤十字社では新型コロナウイルス感染症のことを「病気」、「不安」、「差別」の3つの顔に分けてその対策を説明しています。

まだ分かっていないことが多く、目に見えない新型コロナウイルス感染症の「不安」から心を守る方法や「差別」を生み出さないためにどのように行動すべきかを紹介しています。

3つの顔の理解を深め、負のスパイラルを断ち切りましょう。

3つの感染症はつながっている！

負のスパイラルで感染症が広がる



第2の感染症「不安」から心を守る5つの方法

- 1 まずはリラックス ぼっとする時間を作ろう
- 2 熱中できたり 心が晴れる活動に時間をさく。 運動も効果的！
- 3 一歩引いて 別の視点を持つ人と 話をしてみる
- 4 「その情報は正しい？」 冷静に 情報の信頼性を考えよう
- 5 食べて（健康的な食事）、 寝て（質の良い睡眠）、 自分をいたわろう

第3の感染症「差別」をふせぐために

皆さんそれぞれの場所で 感染拡大しないように頑張っています。 この事態に対応している方々を 忌避や攻撃の対象として扱うのではなく、 **ねぎらい、敬意を払いましょう**

(引用：日本赤十字社)

ロコトレ ～口周りの体操～

新型コロナウイルスによる感染対策として、外出時のマスク着用は必須となっています。そこで今回は、マスクを装着した状態でできる口周りの体操を紹介します。口周りを動かすことで、飲食物を飲み込む動作「嚥下」の機能を高め、結果として誤嚥性肺炎などの深刻な合併症の予防に繋がります。また加齢による顔のシワやたるみにも効果的です。マスクで隠れていることが多い今こそ、口元をこっそり動かしてみましょう。

① ほほの体操



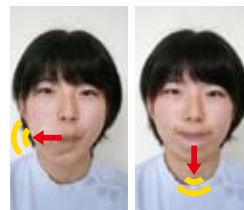
- 口をつむったまま、ほほを大きくふくらませます。
- ほほをなるべくへこませます。
- 食べこぼし防止やしっかり噛むために効果的です。
- 小鼻からちもとにできる**ほうれい線**を薄くする効果があります。

② 口唇の体操



- 口をとがらせて「うー」の口をする。
- 口を横に広げて「いー」の口をする。
- 食べこぼし防止やしっかり噛むために効果的です。
- ほほのたるみをなくす効果があります。

③ 舌の体操



- 口をつむったまま、舌でほほやくちびるを内側から外側(左右・上下)へ押しします。
- 食べるための口内の機能(食物を噛む・奥への送りこみ)を高める効果があります。
- 唾液の分泌を良くし、**口臭予防**にも効果的です。

※一つの運動を3~5秒程度、各種5回づつを目安に交互に行ってみましょう。
※口周りの筋肉を刺激して、嚥下機能を高め、加齢を防止し表情を豊かにしましょう。

リハビリテーション科 理学療法士 中嶋 裕子



宇都宮 一泰 院長

医療法人 順風会 天山病院

- 住所：松山市天山二丁目3番30号
- 電話：089-946-1555
(地域医療連携室 直通089-915-2200)
- 休診日：日曜、祝日、年末年始
- 診療科目：内科、小児科、循環器内科、消化器内科、呼吸器内科、脳神経外科、整形外科、リハビリテーション科、放射線科



天山病院

このコーナーでは、患者さんが地域でより良い医療を受けられるよう、当院と連携・協力している医療機関をご紹介します。

当院は、松山市南部の利便性の高い立地（天山交差点から国道を砥部方面に向かって車で1分）にあります。現在160床、回復期リハビリテーション病棟（50床）、療養病棟（110床）を有します。CT・MRI（1・5テスラ）診断装置をはじめ、先進的な医療機器も導入しました。

外来では、乳幼児から超高齢者まで幅広い診療を行っています。在宅医療では、訪問看護、通所・訪問リハビリ、訪問歯科等、総合的にサポートできます。

また、「子育て支援」を重視した成育医療、病児病後児保育事業、「健康寿命」延伸を目指した、もの忘れ外来、脳ドック、健康診断、産業保健、介護予防事業等も積極的に取り組んでいます。

松山赤十字病院様には、日頃から病病連携等において大変お世話になっております。私たちは、これからも「地域包括ケア」推進に貢献できるように精進して参ります。今後ともよろしくお願ひ申し上げます。

患者の皆様の権利

私たちは、患者の皆様の権利を尊重した医療の提供に努めます。

- 1 人権を尊重される権利**
一人の人間として、その人格、価値観などを尊重される権利があります。
- 2 プライバシーを保護される権利**
院内でのプライバシーが守られる権利、診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります。
- 3 公平で最善の医療を受ける権利**
良質な医療を公平に受ける権利があります。
- 4 医療に関して知る権利**
診療に関して、理解しやすい言葉や方法で納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。また診療に関する情報について聞かない権利もあります。ご自分の診療記録（カルテ）の開示を求める権利があります。
- 5 医療行為について選択し決定する権利**
十分な説明と情報を受けたうえで、治療方法などを自らの意志で選択、または拒否する権利があります。この病院以外での診療を希望する権利、他施設の医師の意見を聞く権利があります。（セカンドオピニオン）

赤十字活動資金へのご協力をお願いします。



赤十字のさまざまな人道支援活動を継続的に行うためには皆さまからの寄付が必要です。ご協力をお願いします。
お問い合わせ先：日本赤十字社愛媛県支部 ☎089-921-8603

新病院部門紹介 〈エリア10〉

歯科・口腔外科



4台の診察ユニットはパーテーションで区切ることで、プライバシーを確保しながら圧迫感にも配慮した環境で診察が受けられます。また、処置中はBGM音楽を流して少しでもリラックスしていただけるよう配慮しています。

耳鼻咽喉科



外径3.35mmと細くハイビジョンのファイバースコープが新しく導入され、小さな子どもさんにも対応することが可能となりました。かかりつけ医と連携し、専門性の高い治療・検査をしています。

小児科



東雲小学校の生徒さんが作成した「愛媛を象徴したみかんの絵」が壁に描かれ、小児科らしいエリアです。小児科専門外来として循環器、血液・腫瘍、腎臓、新生児・未熟児、小児神経、内分泌、アレルギー、予防接種、漢方、心理相談があります。また、救急センターが隣接しているため、救急搬送児の対応が迅速にできるようになりました。

基本方針

- ① 最適で質の高い医療を提供し、患者に優しい病院を目指します。
- ② 多職種によるチーム医療を実践し、安全・安心な医療を提供します。
- ③ 地域の医療機関、保健・介護・福祉と連携を図り、急性期医療・専門医療を実践します。
- ④ 災害医療、国際救援活動の充実を図り、赤十字事業を推進します。
- ⑤ 将来を担う人材の確保と育成に努めます。
- ⑥ 一人ひとりが生き生きとし、働きがいのある病院を目指します。
- ⑦ 健全経営の維持に努めます。

1 新型コロナウイルス感染症に関する皆様へのお願い



〈当院で受診される場合〉

新型コロナウイルス感染症に伴い、院内感染防止のため当院では全ての外来患者さんの体温測定と、問診票記入をお願いしています。

〈面会について〉

入院患者さんへの面会は原則的に禁止しています。当院から特別に面会をお願いする場合と日用品等の受け渡しが必要な場合は例外的に面会を許可しています。詳しくは、当院のホームページに掲載していますのでご覧ください。

新型コロナウイルス感染症の状況は日々、変化していますので当院のホームページ等のご確認をお願いいたします。

●松山赤十字病院ホームページ <http://www.matsuyama.jrc.or.jp>
(6月10日時点)

2 日本赤十字社愛媛県支部からのお知らせ



日本赤十字社愛媛県支部において開催される7月からの赤十字救急法等各種講演会ですが、換気、受講生同士の十分な間隔を確保する等、新型コロナウイルスの感染に配慮し実施する予定です。また、受講生の方々にも体調管理等、新型コロナウイルス感染症の予防にご協力をお願いいたします。新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況は日々、変化していますのでホームページ等のご確認をお願いいたします。

●日本赤十字社愛媛県支部ホームページ <http://ehime.jrc.or.jp/>

3 「地域医療連携フォーラム」開催中止のお知らせ



ぬくもり通信60号でご案内させていただきました令和2年7月12日(日)に松山市民会館大ホールで開催予定の地域医療連携フォーラムについては、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催を中止することいたしました。

何卒ご了承いただきますようお願いいたします。

（初診の診療受付）

受付時間…午前8時30分～午前11時

紹介状をお持ちください

よりスムーズに当院での検査や入院治療を受けていただくために「紹介状」をお持ちください。お持ちいただかない場合でも診療を受けられますが、その際診療料金の他に、初診の場合は5,500円(消費税込)、再診の場合は2,750円の「選定療養費」を別途お支払いいただくこととなります。

紹介状のある患者さんに係る診療受付時間

午後3時まで受付可能な診療科												
内科	月	火	水	木	金	眼科	月	火	水	木	金	
肝胆膵センター	月	火	水	木	金	血管外科	月				木	
消化器内科	月	火	水	木	金	放射線治療科	月			水	金	
小児科	月	火	水	木	金	脳神経外科	月	火			木	金
放射線診断科	月	火	水	木	金	呼吸器外科		火			木	金
腎臓内科	月	火	水	木	金	小児外科					火	
循環器内科	月	火	水	木	金	心臓血管外科	月				水	
外科	月	火	水	木	金							
午前11時までの診療科												
産婦人科	月	火	水	木	金	脳神経内科	月	火	水		金	
耳鼻咽喉科	月	火	水	木	金						(もの忘れ外来は随時)	
リウマチ科	月	火	水	木	金	形成外科	月	火	水		木	
呼吸器内科	月	火	水	木	金	乳腺外科				火	水	金
整形外科	月	火	水	木	金	麻酔科	月				水	金
泌尿器科	月	火	水	木	金	歯科口腔外科	月	火			木	金
皮膚科	月	火	水	木	金							

注)いずれの診療科も緊急を要し、患者支援センターを通じた患者さんに限ります。緊急を要しない患者さんの受付は従来通り午前11時までとなります。

■小児科・産婦人科のみ電話による予約制(初診の場合)
予約受付時間…午後2時～4時(時間厳守願います)
☎089-924-1111

（休診日のお知らせ）

休診日…土曜・日曜・祝日

7月

日	月	火	水	木	金	土
						1
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

日	月	火	水	木	金	土
						1
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

10月

日	月	火	水	木	金	土
						1
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

■ のついた日は休診日です。

松山赤十字病院公式 **facebook** 公開中!

ぜひ「いいね!」をよろしくお願ひします。

松山赤十字病院 フェイスブック

（ 外来診療担当医表 ）

再診…全診療科予約制です

		月	火	水	木	金	
●内科							
総合内科		吉田	八島(山本)	鈴木(土居)	杉原(上田)	岡田	
糖尿病内分泌	1診	岡田	近藤	近藤	近藤	吉田	
	2診	山本	土居	岡田	山本	山本	
高血圧		土居	福岡	福岡	土居	福岡	
血液		藤崎・上田 浦田	上田・坂本 松原	藤崎・上田 徳山	藤崎・浦田 松原	徳山・坂本 杉原(藤崎)	
糖尿病教室		毎週水曜日10:00~12:00(糖尿病チーム)					
●肝胆膵センター							
午 前		上甲・眞柴 畔元・越智	上甲・横田 越智	畔元・越智 天野	横田・眞柴 盛田	上甲・横田 眞柴	
午 後		天野	上甲 越智	畔元 天野	眞柴 盛田	上甲 横田・眞柴	
●胃腸センター(消化器内科)							
外来部門	新患兼院内紹介 再診予約兼院内紹介	午前	蔵原	浦岡	池上	蔵原	
	新患兼予約	午後	清森	蔵原	原	浦岡	
	炎症性腸疾患		村田	井本	八板・村田	原	末永
検査部門		午 前	上部消化管内視鏡およびX線造影検査				
		午 後	小腸大腸内視鏡検査および内視鏡治療				
●循環器センター							
循環器内科	新患・再診		堀本	古川	盛重	松坂	
	予約	午前	—	盛重	—	堀本	
		午後	—	—	—	松坂	
心 外		午前	藤本	—	梅末	—	
※水曜日は9:30から診察いたします。							
●呼吸器センター							
呼吸器内科	予 約		牧野・梶原・廣瀬	兼松	牧野・兼定	梶原	
	新患(外来)		兼定	牧野・梶原	兼松	牧野	
	新患(入院)		担当医	担当医	担当医	担当医	
呼吸器外科		—	吉田・桂	—	竹之山・桂	竹之山・吉田	
検査・手術		手術	気管支ファイバー	手術	気管支ファイバー(肺)	気管支ファイバー	
●腎臓内科							
初・再 診		上村・岩本(昂)	上村・平島	手術日	上村・岡	岡・近藤	
●脳卒中・脳神経センター							
脳神経内科	午前	池添・藤下	池添・原	池添・藤下	池添	池添・原	
	午後	—	もの忘れ外来	もの忘れ外来	—	—	
※もの忘れ外来:完全予約制(1日1名)、紹介状をお持ちの患者さんのみ診察いたします。							
※木曜日は急患のみ診察いたします。(初診・紹介の患者さんの診察はありません。)							
脳神経外科		梶原・三好	武智・渡邊	手術	梶原・三好	武智・渡邊	
※水曜日は手術日につき担当医での診察になります。							
●小児科							
午 前		高岩・飯尾	近藤・平岡	鈴木・相原 西崎	高岩・藤本 飯尾(アロ-アロ)	近藤・相原	
アレルギー		午前	—	片岡	—	片岡PM	
神 経	午前	眞庭	眞庭	中野	眞庭	中野	
	午前	担当医(第1・3) (循環器)	米澤(血液)	上田(漢方)	上田(内分泌)	米澤(血液)	
●産婦人科							
産 科	9:00~	久保・梶原	中島・本田	片山・山口	高杉・梶原	片山・久保	
婦 人 科	12:00	高杉・山口	片山・梶原	高杉・本田	中島・久保	横山・山口	
※水曜日は10:30から診察いたします。							
産科・婦人科	午後	—	—	—	—	横山	
午 前 / 午 後		手術	手術	午後/手術	手術	手術	
午 後		ハロ-ママ外来	ハロ-ママ外来	ハロ-ママ外来	ハロ-ママ外来	ハロ-ママ外来	
●外科							
午 前		谷口	峯川(肝)・富野(肝)	南・泉(肝) スト-マ外来	西崎(肝)・梶原	廣瀬	
午 後		—	スト-マ外来	—	—	—	
		—	—	—	緩和ケア外来	—	
●乳腺外科							
午 前		川口(再診)	川口(AM・PM)	西村(AM・PM)	—	川口	

		月	火	水	木	金
●血管外科						
		山岡(再診) 本間(新患)	—	—	山岡(新患) 本間(AM手術) 本間(PM再診)	—
		松田(AM手術) 松田(PM再診)	—	—	松田(新患)	—
●臨床腫瘍科						
午 前		白石	白石	白石	白石	白石
午 後		第4がんゲラム 医療外来(山本)	白石 (予約新患のみ)	白石 (新患)14:00~	—	白石 (新患)14:00~
●小児外科						
午 後		—	野口	—	—	—
●整形外科						
		中城(股) 大前(肩) 宮崎	野田(脊) 志摩(脊) 江口(膝)	梶原(手・肘) 大前(肩) 江口(膝) 中山	中城(股) 志摩(脊) 大島(股) 中條	野田(脊) 梶原(手・肘) 大島(股)
※(手)手の外科、(肘)肘関節外科、(脊)脊椎外科、(膝)膝関節外科、(肩)肩関節外科、(股)股関節外科						
●リハビリテーション科						
		田口(スポーツ外来)	田口(スポーツ外来)	田口(スポーツ外来)	田口(スポーツ外来)	田口(スポーツ外来)
●リウマチ膠原病センター						
リウマチ科		水木	手術	水木	水木	—
内 科		押領司・三嶋	押領司・三嶋	押領司・山崎	三嶋・今林	今林・堀江 平岡
●泌尿器科						
午 前		(担当医)	田丁・矢野 浅井・郷力	田丁・矢野 浅井・郷力	田丁	田丁
午 後		—	予約検査	予約検査	—	第3スト-マ外来
※月・木・金曜日は手術日につき、上記の診療担当医が変更することがあります。						
●耳鼻咽喉科						
午 前		篠森 浅山・田中	上田 浅山・田中	担当医 有友	篠森 上田・田中	担当医 有友
午 後		—	—	手術	—	手術
		—	視聴器(篠森)	手術	検査(透視)	手術
※水・金曜日は手術日につき、予約の患者さん及び紹介状をお持ちの初診の患者さんのみ診察いたします。						
※火曜日の補聴器専門外来は予約制です。連携施設(耳鼻科)からの紹介患者さんに限ります。						
●眼科						
午 前		児玉 小川	野田 田原	上甲 田原	上甲・小川 依光	児玉・田原 野田
午 後		児玉 小川	野田 田原	上甲	上甲 小川	野田
※当面の間、新患は紹介状をお持ちの方のみ診察いたします。						
●皮膚科						
		南	南	岩坂	南	南
●形成外科						
		庄野・阿古目	庄野・阿古目	庄野・阿古目	庄野・阿古目	手術
※金曜日は手術日につき外来診療はありません。						
●麻酔科						
		安部	—	安部(午前)・伊東	—	安部・彭
●心療内科・精神科						
※当面の間、外来診療については休診いたします。						
●放射線診断科						
新 患		菊池	菊池	菊池	菊池	菊池
予 約		松田	松田	松田	松田	松田
●放射線治療科						
放 射 線 治 療		浦島	—	浦島	—	浦島
●歯科口腔外科						
口 腔 外 科		寺門	寺門	—	寺門	寺門
歯 科 ・ 口 腔 外 科		兵頭	兵頭	兵頭	兵頭	兵頭
		岩本	岩本	—	岩本	岩本
※紹介状をお持ちの患者さんのみ診察いたします。						
※水曜日は手術日につき初診の診療はありません。						
※担当医は都合により変更になる場合がございますのでご了承ください。(令和2年7月1日現在)						

編集・発行 令和2年7月1日発行

松山赤十字病院

〒790-8524 愛媛県松山市文京町1番地 TEL 089-924-1111(代) FAX 089-922-6892



松山赤十字病院
ホームページ



松山赤十字病院
携帯サイト



松山赤十字病院
公式facebook